

平成 24 年度（平成 23 年度対象）

教育委員会における事務の管理及び
執行の状況の点検・評価結果報告書

[概 要 版]

平成 24 年 8 月
北茨城市教育委員会

第1章 教育委員会における事務の点検・評価制度の概要

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の実施について

(根拠)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（平成20年4月施行）が行われ、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を行うことが義務付けられたことにより実施する（本年度で5年目）。

(目的)

事務の点検・評価は、同法第27条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、議会への提出と公表を行い住民への説明責任を果たすことを目的とする。

(対象事業)

教育委員会が前年度（平成23年度）実施した学校教育の充実や生涯学習の振興など主要な事務事業（継続・新規）を対象とする。本年度は、前年からの継続事業17事業、新規事業1事業について実施した。

(学識経験者の知見の活用)

教育委員会事務局が行った点検・評価（自己評価）の結果について、市教育委員会事務事業評価懇談会設置要項に基づき会議を開催し、選任した学識経験者3名から意見を聴取した。

[地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）]

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

◎点検・評価の実施

点検・評価の対象

- 平成23年度に実施した教育委員会の主要な18事務事業

教育委員会における点検・評価

- 対象となる事業の成果等を明らかにする
- 今後の取組や改善点等を取りまとめる

学識経験を有する者の知見の活用

- 教育委員会による点検・評価結果について、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する

《学識経験を有する者》

氏名	備考
小川和夫	元議会事務局長
小関裕子	市青少年相談員 平潟小学校評議員
沼田昇平	元中郷第一小学校長

教育委員会における事務の管理及び執行の状況の点検・評価結果報告書
(定例教育委員会における審議・議決)

提出

公表

市議会

市民

第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員について

- 本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5名の教育委員により構成されている。

北茨城市教育委員会委員 [平成24年4月1日現在]

職名	氏名	任期
委員長	大平康裕	平成21年4月4日～平成25年4月3日
委員長職務代理者	宇佐美泰男	平成20年10月1日～平成24年9月30日
委員	山名玲子	平成23年12月20日～平成27年12月19日
委員	大森廣幸	平成22年12月13日～平成26年12月12日
教育長	松崎三郎	平成21年12月26日～平成25年12月25日

2 教育委員会の活動状況について

- 平成23年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

- (1) 会議開催回数 14回
ア 定例会（毎月第3木曜日開催）……………12回
イ 臨時会（委員長が必要と認めたとき等に開催）……………2回
(2) 議案件数……………25件
(3) 専決件数*……………8件
(4) 選挙……………2件
ア 教育委員会教育委員長の選挙……………1件
イ 教育委員会教育委員長職務代理者の選挙……………1件

※ 専決件数:会議を招集する時間的余裕がない等の理由により、教育長が教育委員会に代わり処理を行った件数。

第3章 教育委員会における事務の管理及び執行の状況の点検・評価の結果

1 有識者の主な意見・要望等（抜粋）

- 教育委員会事務局による点検・評価結果について、有識者から提言された主な意見・要望等（抜粋）は次のとおりである。

- ・保護者の負担軽減を図る上で効果的な事業で、今後とも継続した支援が望まれる。また、子育て支援として市が取り組んでいることを、広報だより等を活用したPRを含めて市民へのアピールをお願いしたい。【私立幼稚園幼児教育振興補助事業】
【学校トイレ洋式化改修事業】
- ・介助を必要とする児童・生徒への支援が充実してきている。今後は、支援を必要とする児童・生徒が年々増加してきていることから、特別支援教育支援員の十分な確保と支援員研修を充実し、適切な対応に努めてほしい。
【特別支援教育支援員配置事業】
- ・市民の興味・趣向に基づいた講座を開設し、学習意欲を高める事業を推進してほしい。また、大学でも地域連携の事業に取り組んでいるので活用をお願いしたい。
【市民大学運営事業】
- ・引き続き地場産物等を活用するなど安全、安心な学校給食の提供に努めてほしい。また、食に関する知識や日本食の大切さなどの日常生活につながる栄養職員・栄養教諭による指導をお願いしたい。
【学校給食提供事業】

2 全体評価（点検・評価に関する教育委員会としての総括的な意見）

教育委員会における事務の管理及び執行の点検・評価は、本年度で4年目となるが、前年に引き続き教育委員会が実施した主要な18事業について点検・評価（2次評価・外部評価）を行った。

- 教育委員会が昨年度実施した主要事務事業については、継続した実施が望まれるものであり、概ね公正で効果的な事業運営を行っていると思われる。
- 今後も事務事業の点検・評価を行い、学校教育・義務教育の充実と幅広い年齢層からの市民の参加機会の拡充を図りながら生涯学習やスポーツ・レクリエーションの振興に努められたい。